

平成 24 年度 事務事業事後評価調書 (平成 23 年度事業)

整理番号 2 - 11

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	町民等からの政策公募事業							
評価者	担当課名		財務企画課	担当係名		企画調整係		
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長		
	氏名	佐々木幸博		氏名	大水寛仁			
事業の概要	町民等誰もが雄武町に愛着と誇りを持ち、町政へ積極的な参画による魅力的なまちづくりを実践していくため、町民等の知恵を活かす政策公募制度を設け、提案される政策を総合的に審査し、町民等と行政が共に考えるまちづくりを推進する					全体計画 (平成 23 年度～ 24 年度)		
						国・道支出金	千円	
						地方債	千円	
						その他	千円	
						一般財源	千円	
						事業費計	千円	
実施方法	■直営	民間委託	その他)				
第 5 期 総合計画(前期)		■登載事業	非登載事業	優先度	A			
事業の位置付け	政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進					
	基本施策	22	住民主体のまちづくりの推進					
	単位施策	3	住民との協働体制の構築					
	事務事業の種類	■自治事務	法定受託事務					
	その他計画・根拠等							
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)		
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円		
	雄武町負担額(一般財源)	千円	千円	千円	千円	千円		
	合計	千円	千円	千円	千円	千円		

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民、出身者、町内事業所・団体等	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	町民等参加型行政の推進	政策公募、審査会による採否判定、政策反映		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	雄武町に愛着と誇りを持つ町民や団体等が自らの知恵を町行政に提案できる機会の拡大が図られる	指標(指標計算式／解説)	目標値及び実績値	
①年間政策提案数	目標年度	23年度		
目標値	3			
実績値	3			
達成度	100.0 %			
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	雄武町ならではの個性的で魅力的な政策を積極的に募ることにより、町民等と行政が共に考えるまちづくりが推進される	②	目標年度	
目標値		実績値		
実績値		達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
政策公募	実施要綱による政策公募制度の創設(応募3件)			
審査会の開催	審査会(特別職・管理職で構成)を開催し、3件の提案について審査した			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/> 義務的なもの <input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	町民等参加型行政を推進するための制度であり、引き続き町民等と行政が共に考えるまちづくりのため、必要である
必要／概ね必要／課題あり		

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	3件の応募があり、いずれも「雄武町を良くしたい」という熱意のある提案で、総合的な審査結果については3件とも「不採用」となったが、提案内容の一部でも採用すべきとの意見もあり、有効性は高いと判断する
有効／概ね有効／課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	直接的な経費は生じないこと、また、審査会前に関係課に意見書を求めた上で開催したことから、集中的かつ効率性の高い審議が進められた
効率的／概ね効率的／課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	町民、出身者、町内事業所・団体等から広く政策提案を募る制度であり公平である
公平／概ね公平／公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益者が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適當 等

B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 制度創設に伴い3件の提案があり、審査会において有意義な議論が展開され、今後も計画どおり進めることが適當		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持		
町民等からの政策提案手法を具体的に制度化したものであり、実際、初年度において複数提案の実績が得られ、今後も継続実施することで、政策への反映が期待できる		

* 展開方向の区分

継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 終了 休止 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--